



県北部の大豆圃場における レーキ式除草機を用いたアレチウリの除草技術

【1 成果の内容】

県北部の大豆圃場で発生が拡大している難防除雑草のアレチウリに対し、レーキ式除草機を用いることで、茎葉処理剤が使用できない大豆2葉期前でもアレチウリを除草でき、除草労力を軽減することができます。なお、4葉期までのアレチウリには除草効果が高いですが、つる化がみられる5葉期以降には効果が低いので注意してください。

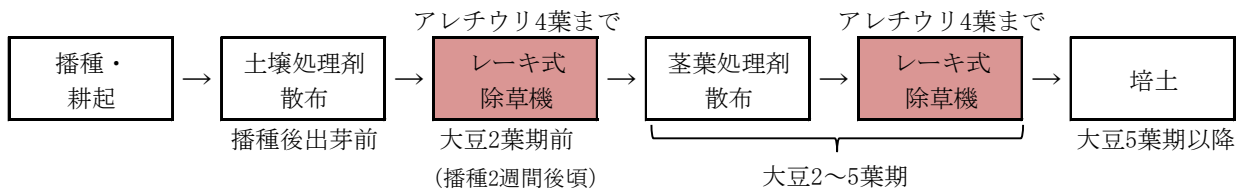


図1 県北部の大豆圃場におけるアレチウリの除草体系



図2 レーキ式除草機 (Q社製 S3 カルチ) による除草状況



図3 除草前 (左) と除草後 (右) のアレチウリ

【2 気をつけること】

- (1) アレチウリの種子を落とさないように、必要に応じて手取り除草を行ってください。
- (2) 大豆の損傷や欠株を生じることがあるため、レーキの条間設定や作業速度などに注意してください。
- (3) 土壌水分が高い場合や砕土率が低い場合は除草効果が劣る場合があります。

※ 本研究は、農林水産省委託プロジェクト研究「多収阻害要因の診断法および対策技術の開発」で実施しました。

担当研究室 県北農業研究所 作物研究室

〒028-6222 岩手県九戸郡軽米町山内 23-9-1

TEL. 0195-47-1073

FAX. 0195-49-3011